連載 最終回

憲法をいかすのか 変えるのか

「自民党改憲草案」を考える ⑨

最高法規を破壊する自民党改憲案

日本国憲法	自民党改憲案
98条　最高法規 （憲法に）反する法律、命令、詔勅、及び国務に関する行為の全部又は一部は、その効力を有しない	同左
96条　厳格な改憲手続き 法律よりも厳格な改憲手続きを定めて、憲法の最高法規性を担保（最高法規性の論理的根拠）	改憲の発議を法律と同じ要件（各院の過半数の賛成）に緩和
97条　人権の永久不可侵規定 憲法が人権を守る法であることが最高法規制の根拠であることを示す（最高法規性の実質的根拠）	全面削除 「11条と内容的に重複」と言い訳。最高法規の章にある意味を没却
99条　公務員の憲法尊重擁護義務 国民には義務なし 憲法が国家を縛る法であることを示す	「全て国民は、この憲法を尊重しなければならない」。元首化した天皇は義務から解放

〝権力を縛る憲法〟から〝国民を縛る憲法〟へ

最高法規を全面破壊

自民党改憲案は、憲法が最高法規として国家権力を縛るものであることを根本的に破壊します。

安倍首相は、2012年末に再度、首相に就任後、まず憲法96条にある改憲手続きの緩和を主張しました。改憲のための国会発議の要件を衆参両院の「3分の2以上」の賛成から「過半数」の賛成へと引き下げようとしたのです。改憲の中身を示さず、まず手続きを緩和し、改憲しやすくする手法は、憲法の縛りを解く最悪の立憲主義破壊だと批判されました。

96条の厳格な手続きは、通常の法律と同じレベルの手続きによって憲法が変えられなくすることで、最高法規性を担保するものです。

人権不可侵削除

自民党改憲案が全面削除を企てる97条の基本的人権の永久不可侵規定。これは、最高法規の章（97、98、99条）の冒頭に示され、憲法が人権を守る法であるからこそ「最高法規」であることを示す重要な意義をもつものと理解されています。これを乱暴に削除することは、13条の「個人の尊重」から「個」の一文字を削ることとあわせ、個人の尊厳を守るという憲法の本質を踏みにじるものです。

自民党「改憲案Q&A」では、憲法11条と97条が「内容的に重複していると考えたために削除」したと述べています。これは、人権の永久不可侵が「最高法規」の章に位置づく重みを全く理解しないものです。

国民を縛る法へ

さらに99条の憲法尊重擁護義務の規定に「国民」を追加し「天皇」を削除しました。99条で国会議員や国務大臣に憲法尊重擁護義務が課され、国民に義務が課されないことは、憲法が国家権力を縛る法であることを端的に示すものです。

これに対し、国民に憲法尊重を義務付けることは、まさに〝国家を縛る憲法〟から〝国民を縛る憲法〟へ逆転させることを意味します。

改憲案Q&Aは「立憲主義は、憲法に国民の義務規定を設けることを否定するものではありません」などとし、日本国憲法の「勤労の義務」「納税の義務」などをあげています。しかし、憲法理念を維持するための個別の課題での義務付けと、個人が消えた国家優先の憲法全体を「国民が尊重せよ」と義務付けることは、比較の対象になりません。

国民が主人公

日本国憲法前文の第1文は、（1）国民主権と代表民主制（2）自由主義・人権尊重主義（3）政府による戦争の阻止・平和主義を宣言しています。主語は「日本国民」であり、国民が憲法をつくりだすことを明らかにしています。

リンカーン米大統領のゲティスバーグ演説で有名な「人民の、人民による、人民のための政治」の一節の趣旨も盛り込まれ、民主政治の充実が立憲主義の重要な内容であることが示唆されます。

「改正」には限界

これらの日本国憲法の基本原理を「人類普遍の原理」と宣言し「われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する」とされています。

憲法の基本原理に反する法令や詔勅が排除されるのは憲法が「最高法規」（98条）であることのあらわれです。

憲法の基本原理に反する「憲法」を「排除する」とはどういうことか。それは、憲法の基本原理を無視する「改正」は許さないということです。

厳格な改憲手続きで憲法の最高法規性を担保したうえに、その厳格な手続きを踏んだとしても「改正」には限界がある。「個人の尊厳」を中核に、人権尊重と国民主権、徹底した平和主義の諸原理を「改正の限界」と宣言しているのです。「憲法制定の根本目的が改正権限を制限する」とも説明されます。

立憲主義の構想は、二重三重に個人の尊厳と自由を守る、人類の深い知恵を含んでいます。

基本原理を否定

これに対し自民党改憲案は、「個人」とその尊厳という立憲主義の根本を消し去り、天皇中心の国家の継承を強調し、天賦人権思想（人間は生まれながらにして自由・平等であり、幸福を追求する権利があるという思想）を排除し「公の秩序」優先で人権を制約します。平和主義の核心である戦力不保持規定（9条2項）を削除し、無制限の武力行使を可能にします。さらに生存権保障のための大企業への規制は否定し、地方自治も破壊します。日本国憲法の基本原理を乱暴に蹂躙する内容です。

自民党改憲案はまさに日本国憲法を否定するもので「排除」されるべき〝憲法〟です。その根源には、日米同盟強化、大企業の利益最優先の新自由主義、過去の侵略戦争を正当化する歴史修正の流れがあります。

改憲案に示される自民党の「世界観」は歴史の逆流そのもの。自民党が、もはや立憲・民主政治を担う資格を持たないことは明らかです。

（おわり）

府職労組合員だけの特典

顧問弁護士 城塚先生の無料法律相談

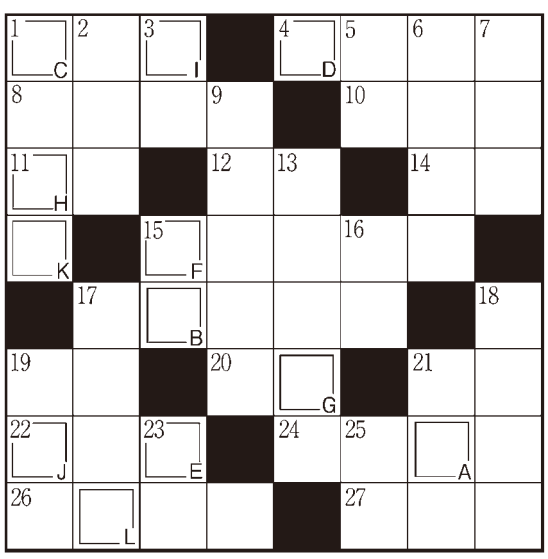
2月より相談予約方法が変わります！

これまで奇数月の第2火曜日を相談日としていましたが、日程調整し、どの日・時間帯でも対応できるようになりました。

利用方法
❶ 府職労まで電話する 06-6941-3079
❷ 希望の日時と相談項目（概要）を伝える
❸ 府職労から弁護士へ連絡
❹ 府職労から組合員へ連絡
❺ 組合員と弁護士で日程を決める

クロスワードクイズ

カギを解き、二重ワクに入る文字をアルファベット順に並べてできる言葉は何でしょう。



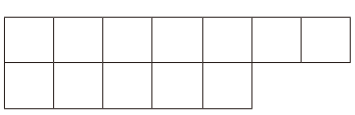
タテのキー♡

①植木屋に――を頼んだ
②平素の修養。文学の――
③○○間、○○洞、○○気
⑤地上の対
⑥物を贈ったりお返ししたりすること。また、その品
⑦予定の期日をのばすこと
⑨一城の主
⑬――を俯瞰する外交？
⑮○○暮れの付け届け
⑯○○として行方知れず
⑰寄席で技量が最も優れた出演者
⑱2つ――を上げて3位に
⑲苦しみ悩むこと
㉑偶然。――あたり
㉓煙草の○○、死の○○
㉕自由に使える余った時間

ヨコのキー◇

①速度を上げること
④先輩の――で就職できた
⑧治療に同じ。荒――
⑩一家の運命
⑪カメの○○より年の○○
⑫まだ挽回の○○はある
⑭にわとりが○○を告げる
⑮故郷を慕い望むこと
⑰信濃国の別称
⑲音読みと○○読み
⑳○○に1万を超える観客
㉑○○をひそめる行為
㉒頭皮上に電極を置き測定
㉔魚のむれ。――探知機
㉖赤穂浪士の――
㉗年齢が増すこと

【解　答】



※新年号のクロスワードクイズの当選者は2月22号で発表します。

応募 府職労本部まで
締め切り 2月28日(火)

正解者の中から抽選で**5人の方に図書カード（1000円分）**を進呈します。①解答②お名前③支部分会職場名④最近のできごとやメッセージを書いて、府職労本部まで、届けて下さい（はがき、メールやファックスも可）。当選者は、3月号で発表します。メッセージは、つぶやきに採用させていただくことがありますので、匿名希望の方は、その旨お書き添え下さい。

再生紙を使用しています。